

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧  
P.2-3

<10週> インフルエンザ - 東北、北陸、信越地方と、岐阜県、広島県、長崎県で依然定点当たり報告数が多くなっている / その他最新動向



注目すべき感染症  
P.4

<インフルエンザ> 2002年第10週の全国定点からの報告総数は63,590( 定点当たり報告数は13.6 )



病原体情報  
P.5

患者から分離・検出された病原体報告 - インフルエンザ / 感染性胃腸炎



速報  
P.6

米国の世界模型飛行機選手権大会参加者に集団発生したコクシジオイデス症



海外感染症情報  
P.7

デング熱の活動性の増加 - ブラジルおよび他の熱帯・亜熱帯諸国 / 検査室職員に皮膚炭疽患者発生 - 米国 / ガボンおよびコンゴ共和国のエボラ出血熱 - 更新 / 他



感染症の話  
P.8-9

ブルセラ症  
動物への依存度が強い国や地域では、  
いまだに重要な感染症の一つである



読者のコーナー  
P.10

日本脳炎の予防接種



グラフ総覧(10週)  
P.11-17



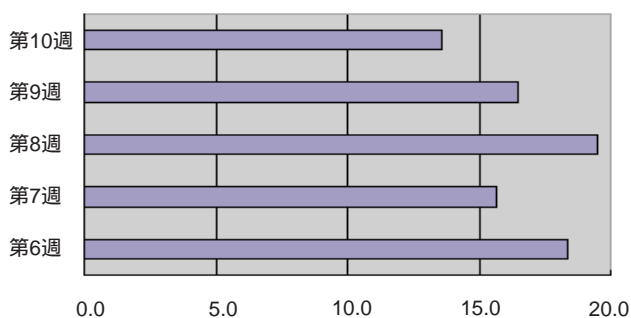
10週のデータ  
P.18-25



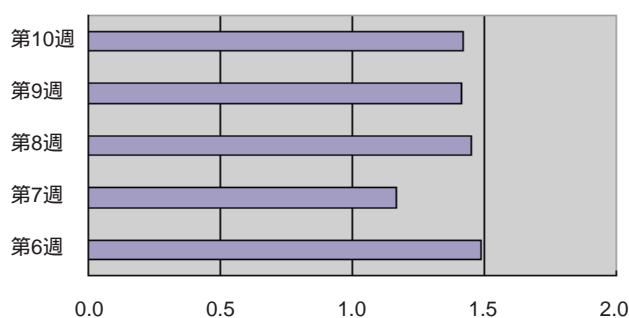
## 最近の注目疾患－5週間の動き

インフルエンザ、感染性胃腸炎は2週連続して定点当たり報告数が減少した。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、ここ3週ほど横ばいの状態となっている。水痘は前週より定点当たり報告数が増加した。流行性耳下腺炎は前週より定点当たり報告数が増加し、ここ5週間では全体として増加傾向にある。

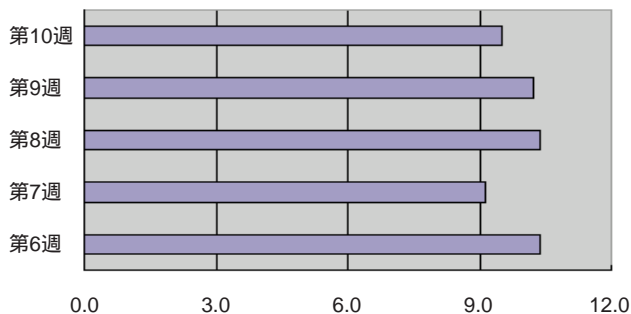
インフルエンザ



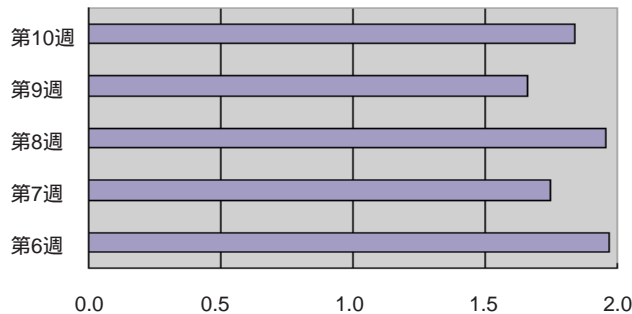
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



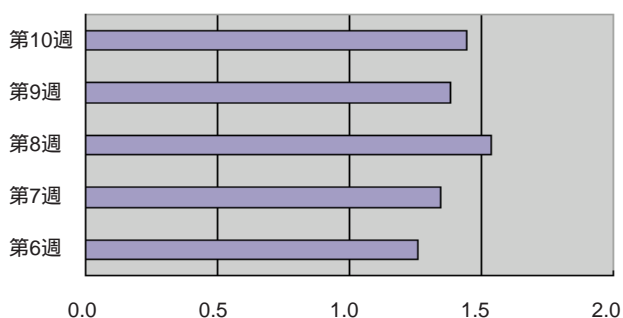
感染性胃腸炎



水痘



流行性耳下腺炎



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数( 報告総数/定点総数 )を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。



# 注目すべき感染症

## インフルエンザ

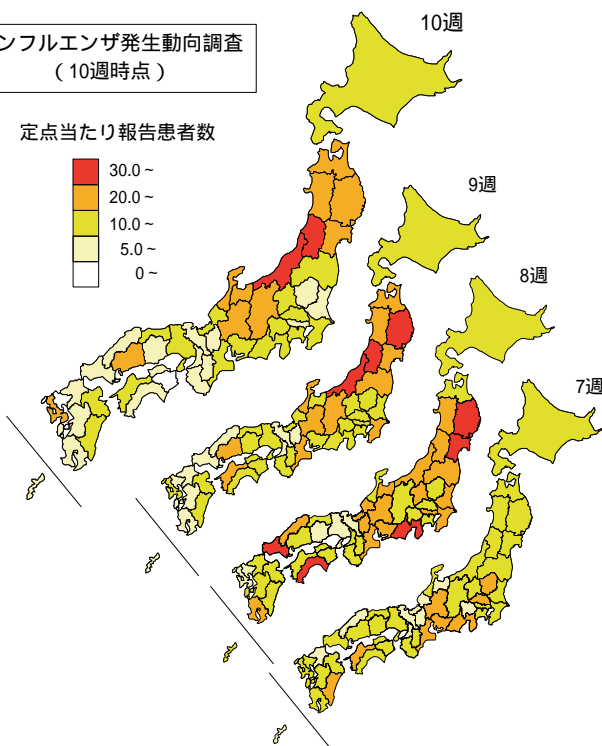
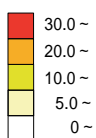
2002年第10週の全国定点からのインフルエンザ報告総数は63,590で、定点当たり報告数は13.6であった。本年第1週からの累積患者報告数は51万4,374人である。今週、定点当たり報告数が多くなっているのは、新潟県( 51.9 )、山形県( 30.2 )、岩手県( 29.1 )、宮城県( 26.0 )、青森県( 25.0 )、秋田県( 24.7 )、石川県( 22.0 )、長野県( 21.2 )、富山県( 20.2 )など東北、信越、北陸地方、広島県( 21.5 )、岐阜県( 20.4 )、長崎県( 21.0 )などである。今週報告された患者を年齢階級別にみると、3~7歳に多く、5歳以下の子どもは全体の34%、20歳以上の成人の報告は全体の16%を占めており、前週までの状況とくらべると、やや6歳以上の年長児の報告の割合が高くなっている。

厚生労働省感染症発生動向調査警報発生システムによれば、国内すべての都道府県内に警報または注意報の発生している保健所がある。大きな流行の存在を示唆する「警報」は、愛知県内の13保健所、埼玉県内の10保健所など計139保健所で発生しており、今後4週間以内に流行現象が生ずる可能性が高い「注意報」は北海道内の14保健所、神奈川県内の9保健所、千葉県内の8保健所など、全国計143保健所に発生している。東北地方では依然インフルエンザ流行が大きくなっているが、全国的にみれば警報、注意報ともに前週より少なくなっている(「インフルエンザ警報・注意報マップ」は感染症情報センターホームページ、トピックス「インフルエンザ」参照。インフルエンザウイルスの分離・検出については5ページ病原体検出情報参照)。

厚生労働省が都道府県の学校担当部局などの協力を得て行っている、学校における「インフルエンザ様疾患発生報告」によると、平成13年10月28日から平成14年3月9日までの累積欠席者数は128,987人(累積患者数は263,356)で、流行が小さかった昨年同期の約6倍となっている。

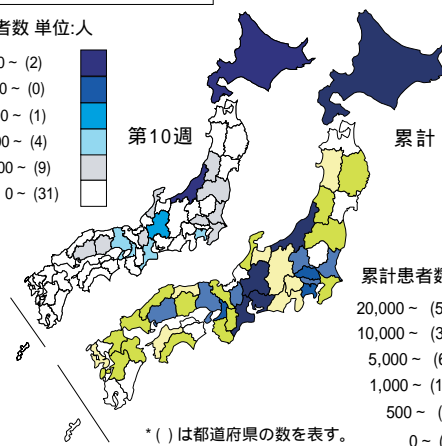
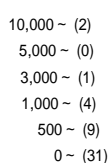
インフルエンザ発生動向調査  
(10週時点)

定点当たり報告患者数

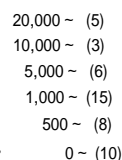


インフルエンザ様疾患発生報告  
(学級閉鎖に伴う患者調査)

患者数 単位:人



累計患者数 単位:人



\* ( ) は都道府県の数を表す。



# 病原体情報

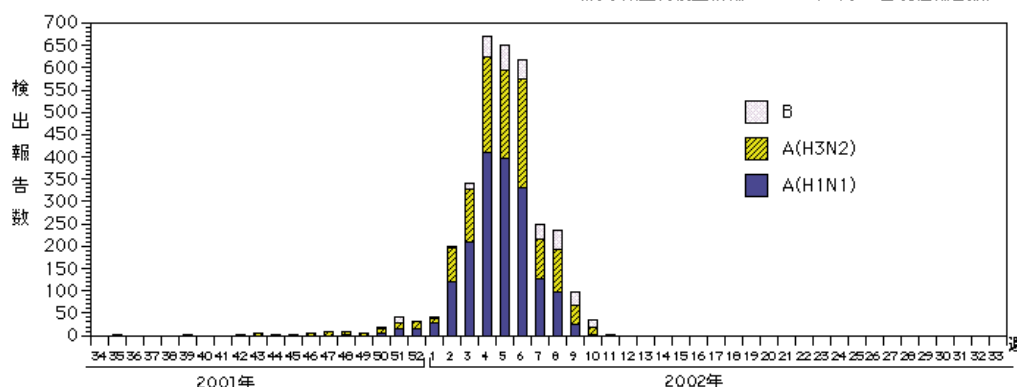
\*グラフはIASRホームページ( <http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html> )からの引用です。  
( 2002年3月15日現在報告分 )

## インフルエンザ 2001/02シーズン

今シーズンの分離・検出報告は、A/ソ連(H1)型が1,793件( 新潟県159、広島県95、石川県89 など )、A/香港型(H3)が1,175件( 札幌市134、愛媛県87、福島県69など )、B型は299件( 愛知県59、札幌市47、名古屋市40など )である。最近では、A/ソ連(H1)型が第9週に25( 6県市 )、第10週に3( 札幌市 )、第11週に1( 神戸市 )、A/香港型(H3)が第9週に43( 10県市 )、第10週に15( 札幌市、山口県 )、第11週に1( 神戸市 )、B型が第9週に29( 10都県市 )、第10週に18( 札幌市、神戸市、北九州市、大分県 )が報告されている。

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2001/2002シーズン

(病原微生物検出情報：2002年3月15日現在報告数)



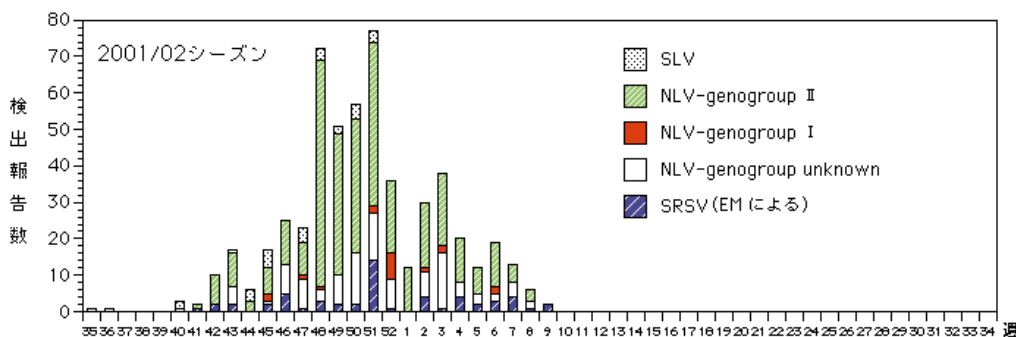
各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。  
( \*他に40週AH3, 49週Bが国立仙台病院で分離されている )



## 感染性胃腸炎 2001/02シーズン

今シーズンのSRSVの検出は、ノーウォーク様ウイルス(NLV)genogroup IIが341件( 広島市54、岩手県38、滋賀県33、大阪市29、岡山県27など )、NLV genogroup Iが18件( 滋賀県8、石川県2、広島市2、長崎県2など )、NLV genogroup unknownが108件( 新潟県38、山形県17、東京都14など )、サッポロ様ウイルス(SLV)が27件( 愛媛県13、岩手県10、広島県4 )で、その他に電顕による検出が56件( 愛媛県19、岡山県18、北九州市8など )報告された。また、A群ロタウイルス103件( 香川県22、新潟県20、奈良県17など )、群不明ロタウイルス9件( 愛媛県5、北九州市3、熊本県1 )の検出が報告されている。

検出されたSRSVの内訳、2001/02シーズン (病原微生物検出情報：2002年3月15日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。





## 米国の世界模型飛行機選手権大会参加者に集団発生したコクシジオイデス症

コクシジオイデス症は米国カリフォルニア州～アリゾナ州～ニューメキシコ州を中心とした地域に発生する真菌症で、その病原体である *Coccidioides immitis* は半乾燥地帯の地中に生息し、条件が整うと地上に孢子(分生子)を放出する。孢子は風に乗って広範囲に拡散し、経気道的にヒトに感染する。ヒトからヒトへの感染はほとんど無いが、菌の浮遊している地域に滞在していると、多数の人間が同時に感染し、発病する可能性が高い。

2001年10月に米国カリフォルニア州ベーカーズフィールド郊外のローストヒルズにおいて、世界模型飛行機選手権大会が行われた。世界30カ国から300名以上が参加したが、大会後、帰国した参加者の間にコクシジオイデス症の発症が認められた。患者数は現時点で、確診例2名(英国人、フィンランド人各1名、IASR Vol.23, No.2, p.12 外国情報参照)、疑診例2名(オーストラリア人、ニュージーランド人各1名)であるが、現在、各国で調査が進んでおり、今後増加する可能性がある。競技会が行われたベーカーズフィールド周辺は、カリフォルニアの中でもコクシジオイデス症の多発地帯として知られている。参加者は強風の中、屋外の砂地で連日競技を行っていたものと推測され、これが集団発生に結びついたものと思われる。また、現地にテントを張って寝泊まりしていた参加者も多く、暴露をさらに深刻にした可能性が指摘されている。

わが国へはWHO、CDCを通して国立感染症研究所に連絡があったため、日本人参加者に対する素早い対応が可能となった。日本人は全国各地から20名が参加していることが明らかになったため、ただちに厚生労働省による「輸入真菌症など真菌症の診断・治療法の開発と発生動向調査に関する研究班(主任研究員:国立感染症研究所・上原至雅)が、班員である千葉大学真菌医学研究センターを中心として追跡調査を開始した。幸い、現時点では明らかな感染例は認められていない。

わが国では、コクシジオイデス症を初めとする輸入真菌症の増加が繰り返し報告されているものの、医療体制は十分整っているとはいえない。とくに今回のように、多数の対象者が全国に居住している場合、各地に、輸入真菌症に対するある程度以上の知識を持ち、対応しうる医療機関、検査機関を組織的に配置しておくことが必要となるが、現状ではコクシジオイデス症に十分な知識を持つ臨床医、検査技師は極めて少なく、また菌学的、血清学的検査を行える施設も限定されている。輸入真菌症に対抗するためには、医療従事者(医師、検査技師)の基礎教育などの体制の整備が必要であることを改めて示した事例と言えよう。

千葉大学真菌医学研究センター 亀井克彦

(IASR2002年3月号掲載記事より抜粋、詳細は同号参照)



## 海外感染症情報

\* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ (<http://www.forth.go.jp/>) をご覧下さい。

### デング熱の活動性の増加 - ブラジルおよび他の熱帯・亜熱帯諸国

CDC/travelers' health, Outbreaks 2002年3月4日

ブラジルの公衆衛生局は、ブラジルの都市部、特にリオデジャネイロ州においてデング熱の活動性が最近増加していると報告した。2002年2月にリオデジャネイロ州で約35,000名のデング熱患者が報告され、総数では約75,000名であった。死亡例は、リオデジャネイロ州が14名で、総数では25名であった。デング熱はブラジルではよく見られる病気であるが、最近リオデジャネイロ州で患者数が著しい増加を示している。中南米の多くの国や他の熱帯・亜熱帯の地域でも、デング熱の活動性の増加が報告されている。疾患サーベイランスの精度は国ごとに異なり、必ずしもすべての国で流行が報告されているとは限らない。

### 検査室職員に皮膚炭疽患者発生 - 米国

CDC/travelers' health, Outbreaks 2002年3月13日

テキサス州において、CDCが実施している炭疽の環境調査のための検体測定を手伝っている民間の検査室職員が、皮膚炭疽の疑い患者であったことが確認された。

3月4日テキサス州の検査室職員が、自分の頸部にできた病変が炎症を起し、頸部リンパ節腫脹をみたため治療を受けた。その職員は医師により抗菌薬の投与を受け、回復している。

### ガボンおよびコンゴ共和国のエボラ出血熱 - 更新

WHO/CSR 2002年3月14日

ガボン: 2002年3月12日ガボン保健省は、50名の死亡を含む60名のエボラ出血熱診断確定患者を報告した。最近の患者はOgooue-Invindo地方に限局している。最近確定診断された患者は、MakokouとMekamboでそれぞれ2月23日と3月10日に死亡した。接触者62名が経過観察されている。

コンゴ共和国: 2002年3月9日までに、ガボンのOgooue-Invindo地方と国境で接しているコンゴ共和国のCuvette地区のいくつかの村で、18名の死亡を含む31名のエボラ出血熱診断確定患者が報告された。現在コンゴ共和国では、58名の接触者が経過観察されている。

Kelleの北西65kmにある3つの離れた村で、1月中旬から3月8日の間の死亡例について報告がなされた。患者の大部分はAmbomiで発生した。オランダの国境なき医師団(MSF)から構成されたチームは現在Kelleにおり、50kmの長さの道路が再開されたので、できる限り早く村に到着するよう計画している。WHO、コンゴ保健省、およびGlobal Outbreak Alert and Response Networkの協力組織であるパリのEpicentreからのスタッフが合流する予定である。必要な場合は検体を採取し、検体の分析を早急に照会し、バリア看護法、サーベイランス、および保健教育活動を実行する準備ができています。WHOは防護器具を追加して提供している。

### コンゴ民主共和国でコレラ流行 - 更新

WHO/CSR 2002年3月15日

3月14日現在コンゴ民主共和国の保健省は、2001年11月にKatanga州の40保健区のうち24保健区で流行が始まってから、502名の死亡を含む6,601名のコレラ患者を報告した。



## 感染症の話

### ブルセラ症

ブルセラ症はブルセラ属菌による人獣共通感染症である。食料や社会・経済面のみならず、共同生活者としても動物への依存度が強い国や地域では、いまだに重要な感染症の一つである。一方、多くの工業国では動物のブルセラ症対策が行き届いた結果、ヒトのブルセラ症も減少した。これらのことは、ヒトのブルセラ症の発生が保菌動物の存在に依存していることを示している。

#### 疫学

本症のおもな分布域は地中海地域、西アジア、およびアフリカとラテンアメリカなどで、一部地域では増加傾向にあるとされる。流行地で報告される発生数には大きな幅があるが、動物に対するブルセラ症対策が行われていない地域での報告が多い。動物間でブルセラが流行している地域でヒトの感染率が低く報告されている場合には、サーベイランスや報告システムの不備である可能性を考える必要がある。一部の国々では、本来ヒツジとヤギを自然宿主とする *Brucella melitensis*、およびブタを自然宿主とする *B. suis* がウシに定着してヒトへの感染源となり、公衆衛生上の新しい問題となっている。

ブルセラ症は、感染動物の乳や乳製品の喫食、感染動物(ウシ、ヒツジ、ヤギ、ブタ、ラクダ、スイギュウ、野生反芻獣、およびまれにはアザラシ)やその死体、および流産組織などとの接触によって感染する。酪農・農業従事者、獣医師、屠畜場従事者では職業的な感染のリスクが高く、実験室内感染もある。

#### 病原体

ブルセラ属には多様な菌種が含まれることが示され、*B. abortus*, *B. suis*, *B. neotomae*, *B. ovis*, *B. canis*, そしてさらに最近では海洋動物に病原性を示す *B. maris* も分離されている。このうち公衆衛生的には *B. melitensis* 感染の問題が大きく、家畜に対して重要なのは *B. abortus* によるウシの感染である。ブルセラ属菌の系統的な相関関係はrRNAの塩基配列によって解析される。最も近縁な菌は日和見感染の原因ともなる環境菌 *Ochrobactrum anthropi* で、この菌はブルセラ特異的PCRによっても検出される。

ブルセラ菌は食細胞、非食細胞のいずれにも感染しうるが、細胞への接着と侵入に関する遺伝子、および菌体成分は明らかではない。菌体成分のうち免疫防御を誘導する主要な抗原はS LPSで、菌の細胞内生残に関与している。S LPSは腸内細菌のLPSと異なり、内毒素感受性のマウス、ウサギ、ニワトリ胎児に対する毒性、およびマクロファージに対する毒性が低く、発熱性と低鉄血症誘導能も低い。これらはいずれも実験によって明らかにされたことであるが、ブルセラ菌の自然宿主に対する病原性発現の機序には不明の点が多い。

#### 臨床症状

潜伏期間は通常1～3週間であるが、数カ月に及ぶ場合もある。症状は他の熱性疾患と類似しているが、筋肉骨格系に及ぼす影響が強く、全身的な疼痛感、倦怠感、衰弱、およびうつ状態と、持続的、間欠的、または不規則な発熱が見られる。一部では泌尿生殖器の症状が顕著である。症状は軽症で自然治癒する場合もあるが、重症化することもある。病気の期間は2～3週間から数カ月間である。



### 病原診断

病原体については血液培養による診断が有効で、発熱時で、なるべく抗菌薬投与前の血液、あるいはリンパ節生検材料、骨髓穿刺材料などを対象とする。培養は *B. abortus* である場合を考慮し、炭酸ガス培養を行う。37℃ で2~14日間培養し、菌数の少ない菌血症の検索には増菌培養も行う。ブルセラ属菌は小さい正円形、半球状にやや隆起した表面平滑なコロニーで、3日以上の培養で直径1.5~2mmになる。菌はグラム陰性の短桿菌で単在することが多く、長い連鎖は作らない。両端濃染性を示さない。予備的な同定は形態、培養性状、および血清学的方法で行う。確定的な同定はフェージ型別、酸素代謝、または遺伝子型別によって行う。ブルセラ属菌は研究室感染の危険が最も高い病原細菌の一つであるため、材料はBiosafety Level 3基準を満たす条件で取り扱うことが望まれる。

本症は多くの場合慢性経過をたどり、有症状期でもすでに抗体を保有していることが多いため、日常的な診断で血清診断の持つ意義は大きい。血清反応のうち、標準的に行われる試験管内凝集反応は操作と判定が容易で、市販の家畜用の標準菌液を準用することができる。感染早期では、2-メルカプトエタノール感受性のIgM抗体が検出される。活動型の感染では、IgAとIgG抗体の検出が指標となる。

### 治療・予防

ブルセラ菌にはテトラサイクリン系薬などの抗菌薬が有効であるが、細胞内寄生であるため、リファンピシンやキノロン系薬などの抗菌薬を併用する必要がある。成人の急性ブルセラ症に対するWHOの推奨治療法は、600~900mg/日のリファンピシンと200mgのドキシサイクリンを6週間投与方法である。髄膜脳炎や心内膜炎などの合併症がある場合には、リファンピシン、テトラサイクリン、およびアミノグリコシド系薬を併用する。小児で合併症がない場合には、リファンピシンとコトリモキサゾールの併用が推奨される。抗菌薬耐性のブルセラ属菌の存在も知られているが、その臨床的な意義は明らかではない。

現在、弱毒変異株を用いたワクチンの開発が行われているが、実用化には至っていない。実際的には、ヒトのブルセラ症の予防は感染動物の根絶、および乳と乳製品の適切な加熱処理、予防接種、および検査陽性動物の殺処分( Test and Slaughter )などの獣医学的な対策が有効である。これらの方法によってヒトのブルセラ症の発生が激減した国や地域が多い。

### 感染症法における取り扱い

ブルセラ症は4類感染症全数把握疾患であり、診断した医師は7日以内に最寄りの保健所に届ける。報告のための基準は以下の通りである。

診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、以下のいずれかの方法によって病原体診断や血清学的診断がなされたもの

- ・病原体の検出
  - 例、血液、骨髓その他の組織からの菌の培養・同定など
- ・病原体に対する抗体の検出
  - 例、試験管凝集反応( 1:160倍以上の力価 )
  - 補体結合反応、競合酵素抗体法では急性期と寛解期で4倍以上の力価上昇など

( 国立感染症研究所獣医科学部 神山恒夫、細菌部 渡辺治雄 )

 **読者のコーナー**

Q: 6歳と4歳の子供の母親です。米国に滞在していて、まだ日本脳炎の予防接種を受けていません。やはり受けるべきなのでしょうか? 4歳の娘はともかく、6歳の娘に関して言えば、小学校で1度追加で接種するかどうかと思うのですが... その時まで接種しないと意味がないなど、問題がありますか? というのも7歳未満の子供には市から無料券が頂けるのですが、既に6歳半であり、今から3回接種するということは、最低でも1度は自己負担という事になります。お手数をおかけしますが回答のほど、よろしくお願い致します。  
(横浜市 Iさん)

**日本脳炎の予防接種**

日本では予防接種の普及により日本脳炎患者は激減し、現在では年間数名の患者報告になっています。患者さんの年齢は60歳以上の高齢者の方がほとんどですが、去年は30歳代や40歳代の患者さんもしらっしゃいました。小児の患者さんは最近では見かけなくなりましたが、これは蚊が少なくなったり、豚舎が住居の近くに少なくなったことに加えて、予防接種の効果が大きいと思われる。

全国数十カ所の都道府県でブタの日本脳炎抗体保有率を毎年測定していますが、西日本を中心にブタの抗体保有率は高く、日本脳炎ウイルスは現在の日本ではまだ多く存在しているのが現状です。日本脳炎ワクチンは北海道を除くすべての都府県で定期接種として接種が勧奨されております。

6歳のお嬢様については公費負担があるうちに定期接種として2回の接種をすませ、あとは小学校でII期としての定期接種がありますので、これを追加接種と考えて接種されるのは如何でしょうか。公費負担の割合や定期接種の時期はお住まいの市区町村によって少しずつ異なることがありますので、直接居住地市区町村にお問い合わせ下さい。

日本脳炎ウイルスを持っているブタの割合が多い西日本にお住まいの場合や、帰省などで夏にそちらの方に行かれる機会が多い場合は、もちろん自費負担で翌年任意接種として追加接種を受けることも可能ですのでご検討ください。その場合、その後の追加は5年ごとぐらいでいいと思います。中学校でもIII期の定期接種があります。国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ (<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>) の「免疫状況」あるいは「予防接種」をクリックしていただきますと、日本における定期/任意予防接種スケジュールをご覧いただけます。

ブタの日本脳炎ウイルス保有状況は、同じく当研究所感染症情報センターのホームページ (<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>) の「免疫状況」に進んでいただき、「全国日本脳炎ブタ情報」をクリックしていただきますと、ブタの日本脳炎ウイルス保有状況が都道府県別にわかりますので、ワクチンをどうするか判断の参考になると思います。

(国立感染症研究所感染症情報センター 多屋馨子 岡部信彦)

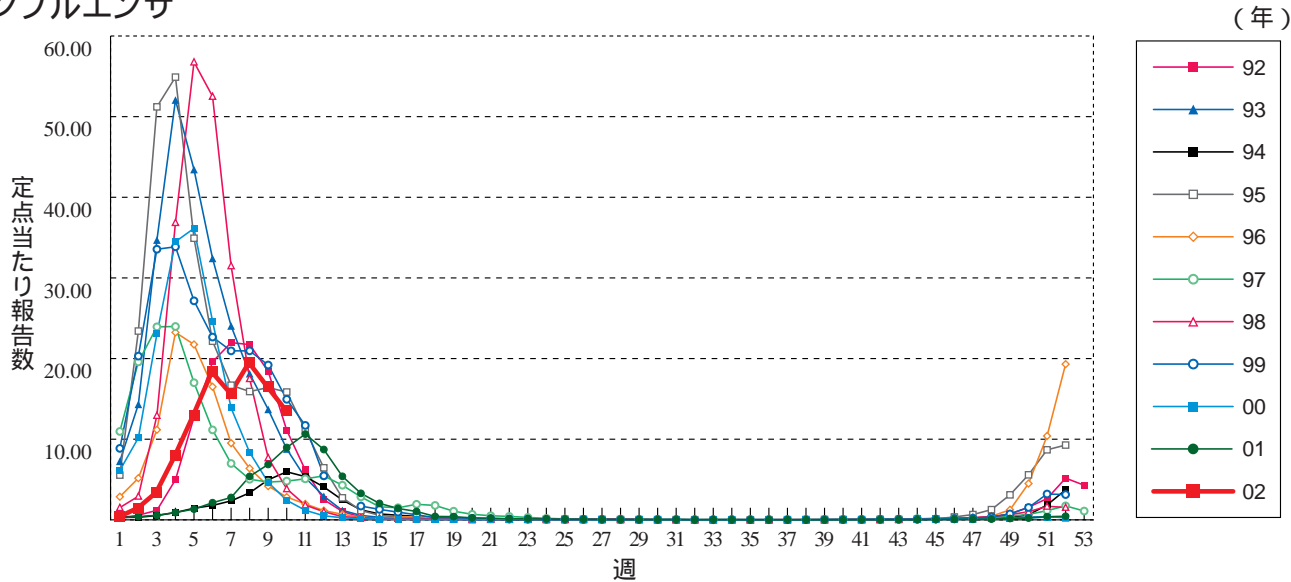
\*\*\*\*\*

「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-QをつけてこちらまでEメールでどうぞ。

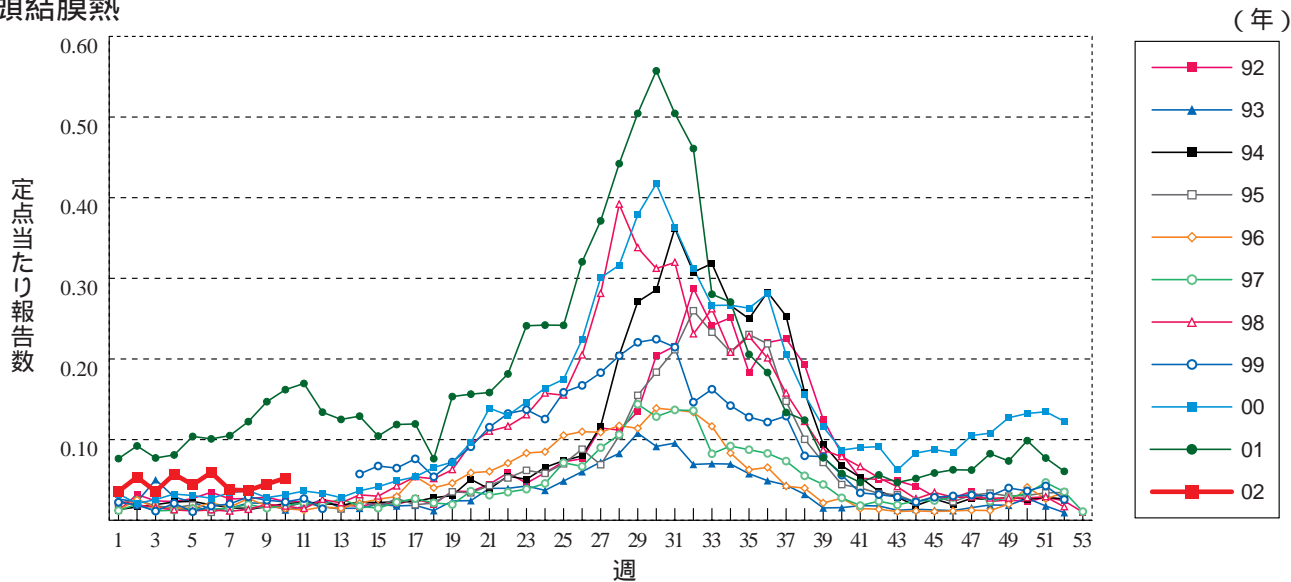
[idsc-query@nih.go.jp](mailto:idsc-query@nih.go.jp)

**グラフ総覧(10週)**

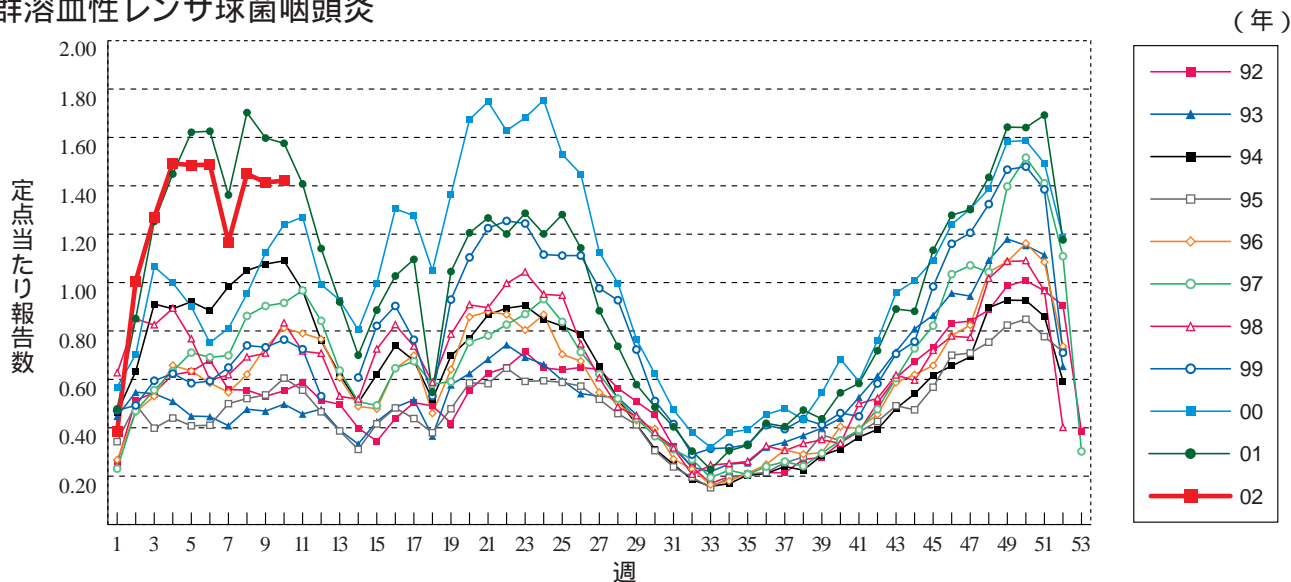
**インフルエンザ**



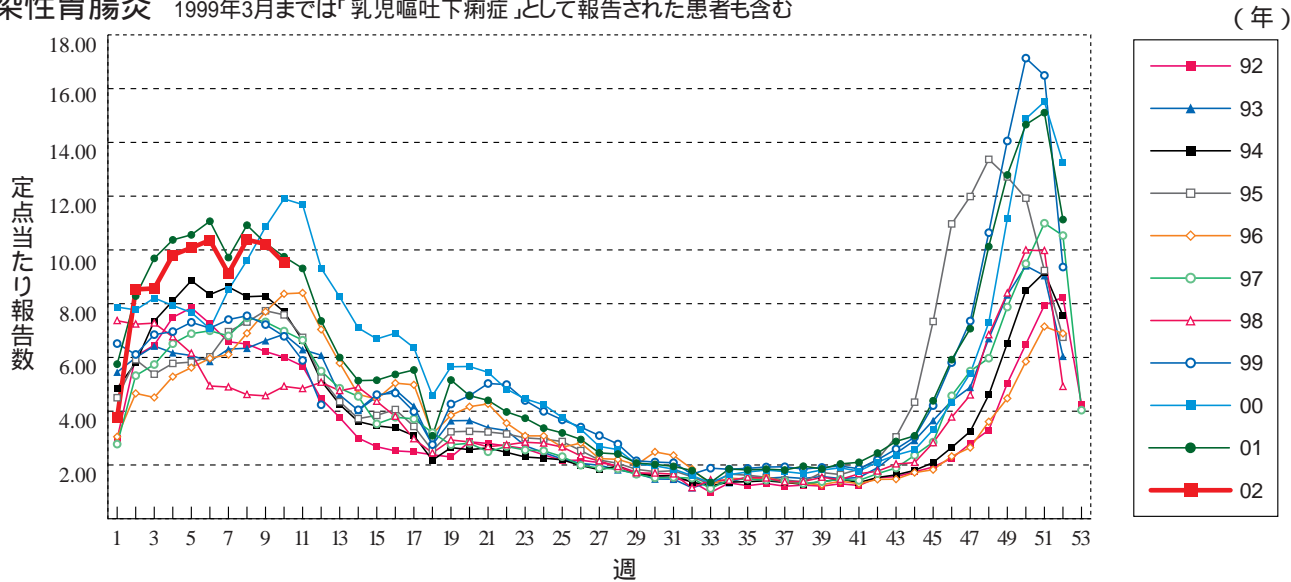
**咽頭結膜熱**



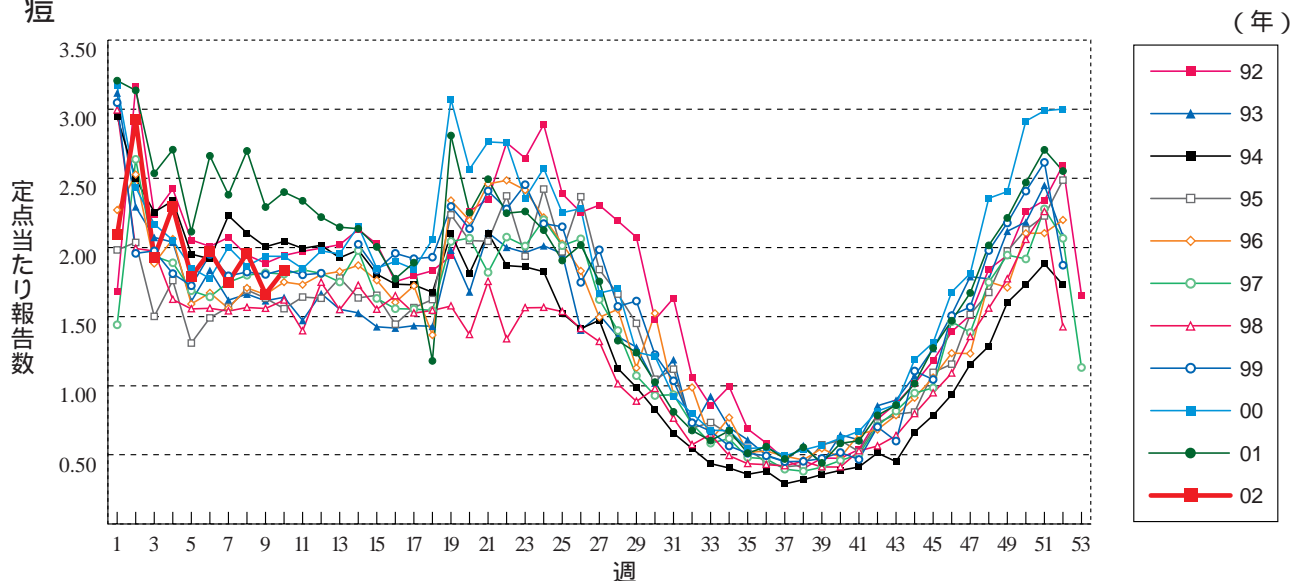
**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**



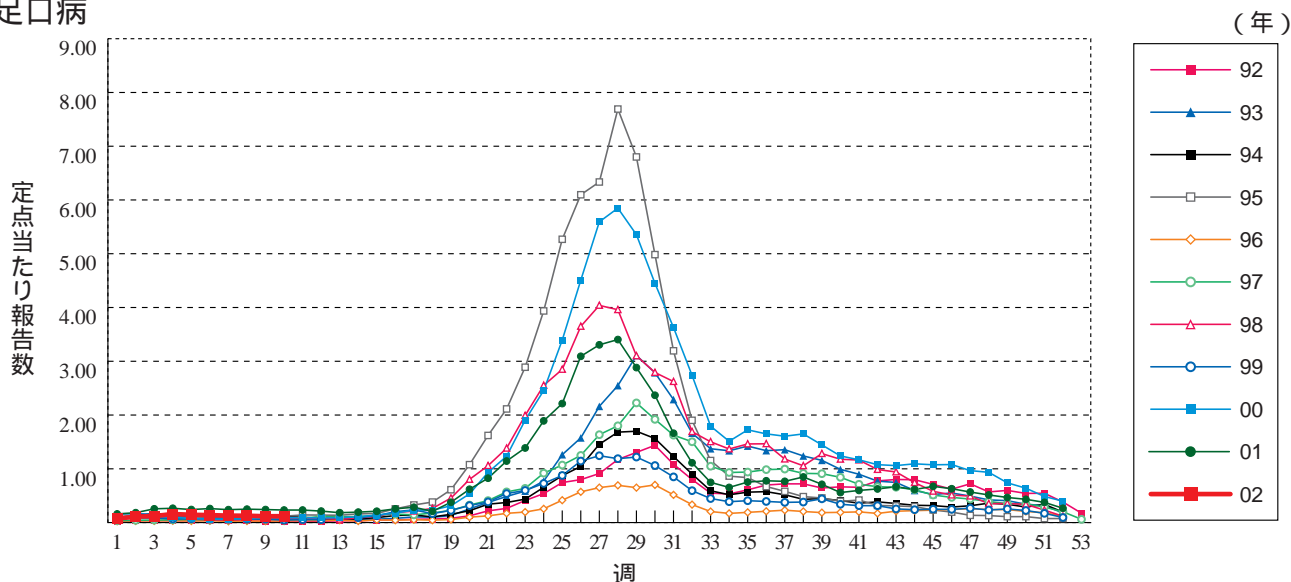
**感染性胃腸炎** 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



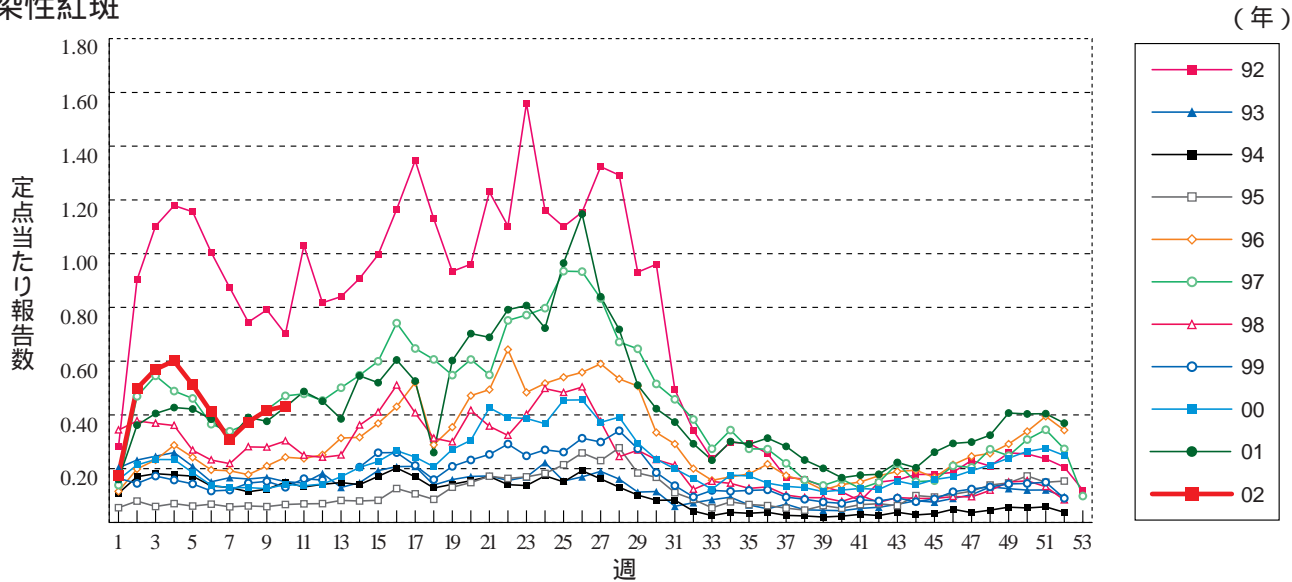
**水痘**



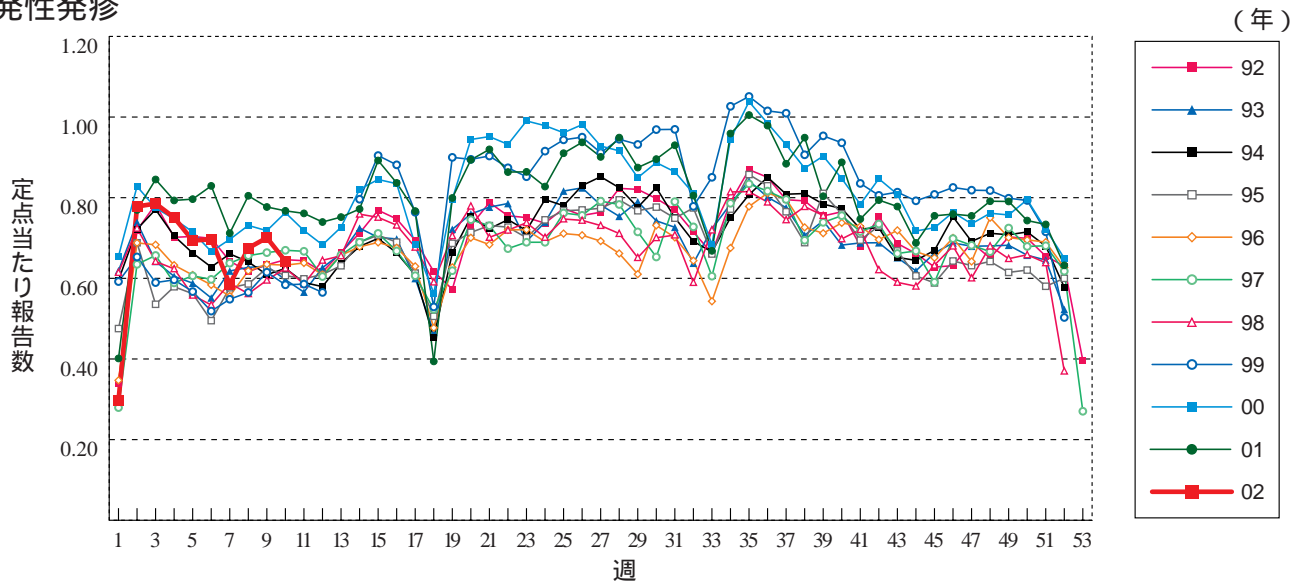
**手足口病**



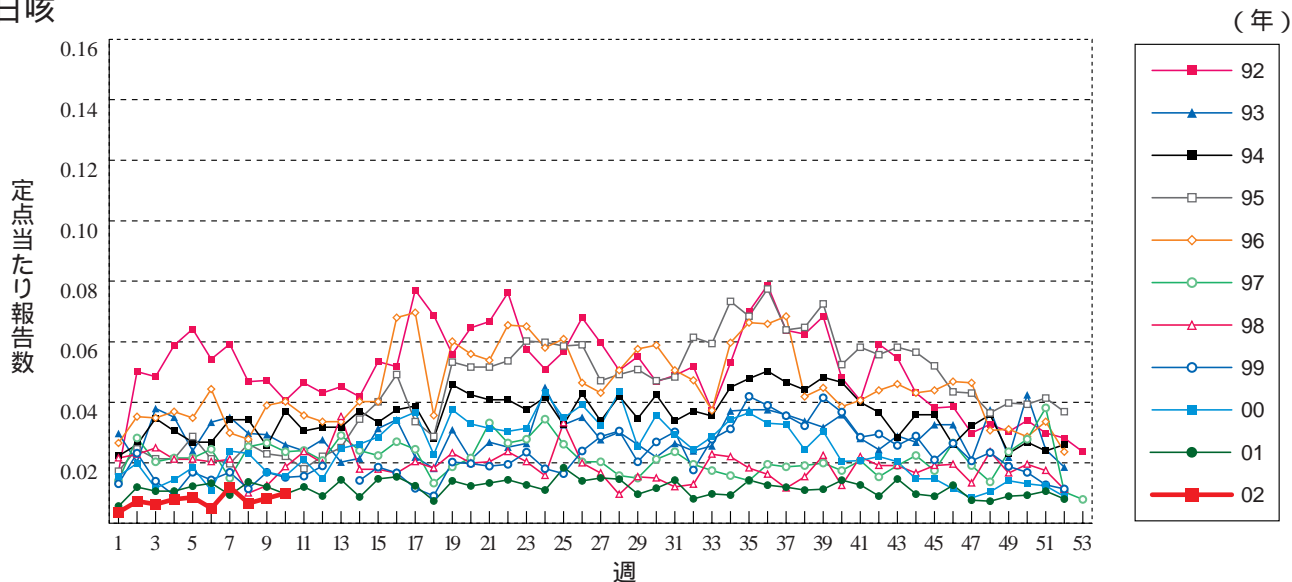
伝染性紅斑



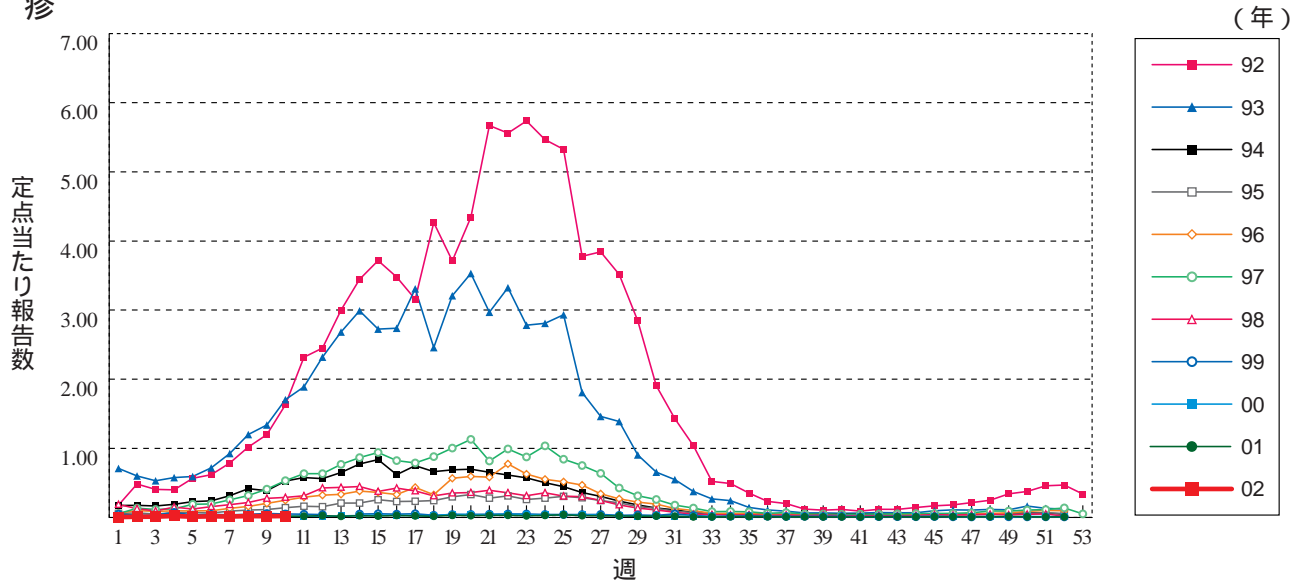
突発性発疹



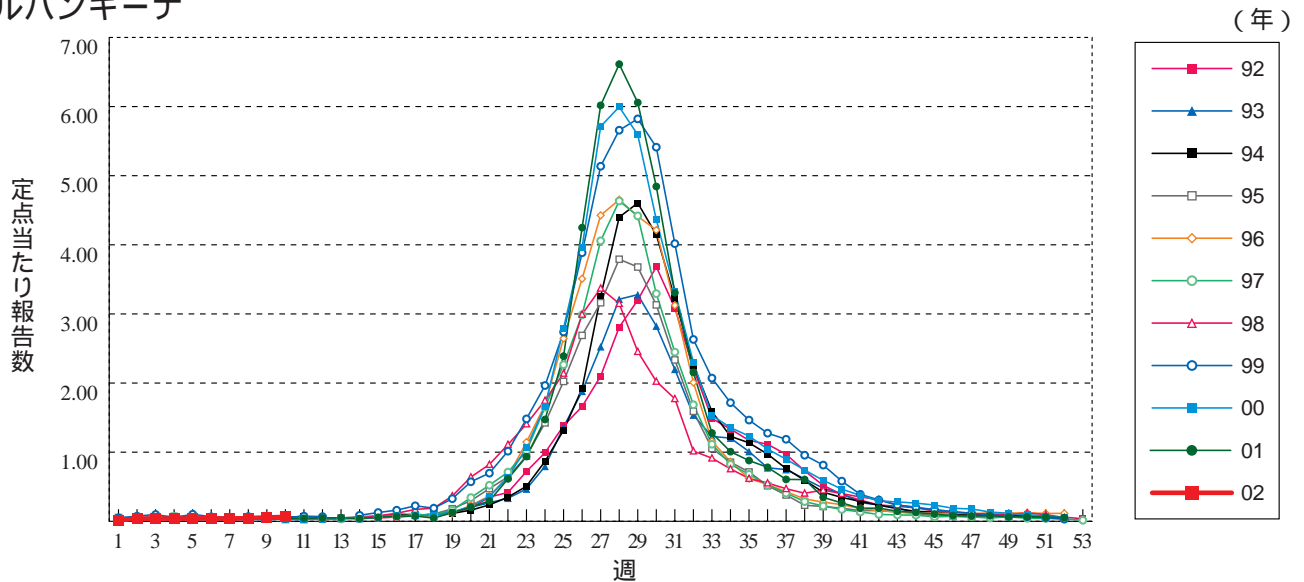
百日咳



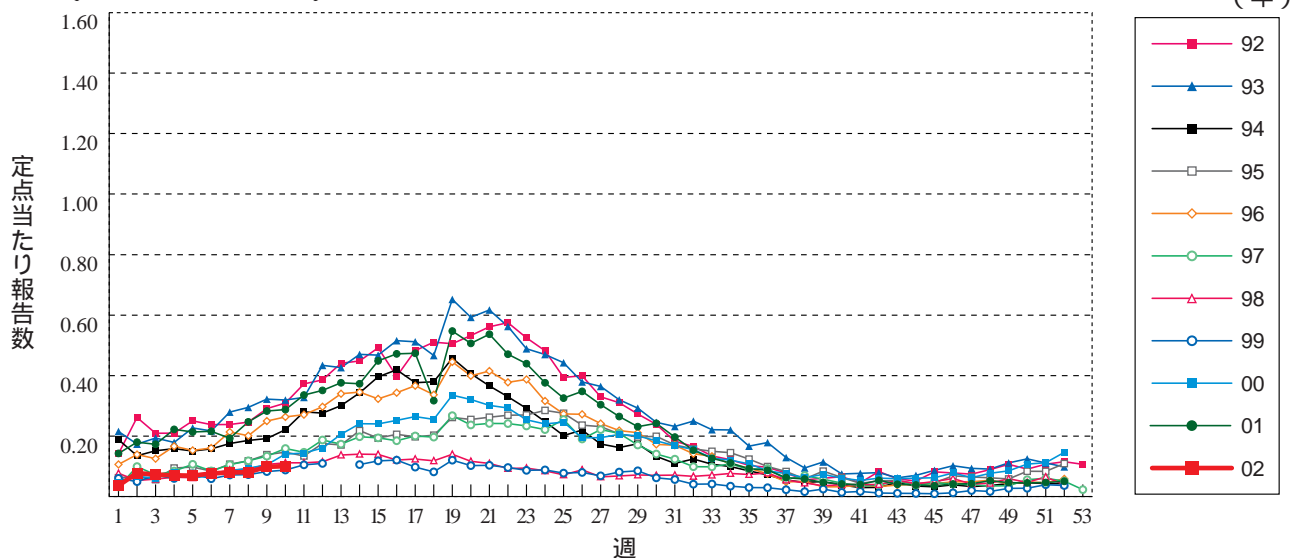
風 疹



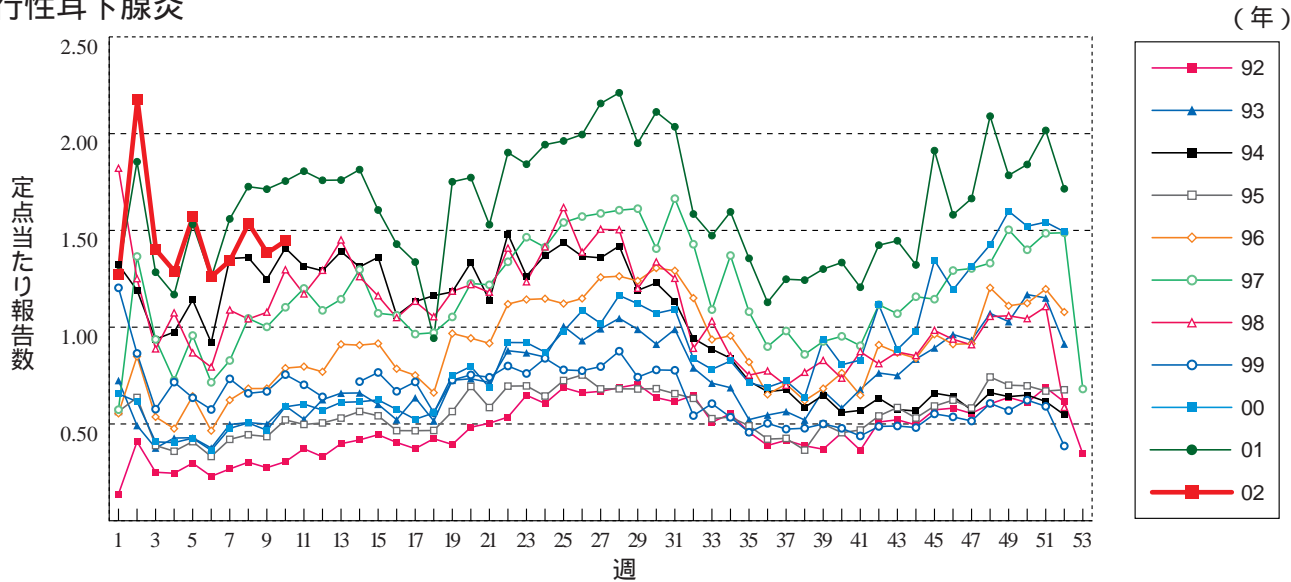
ヘルパンギーナ



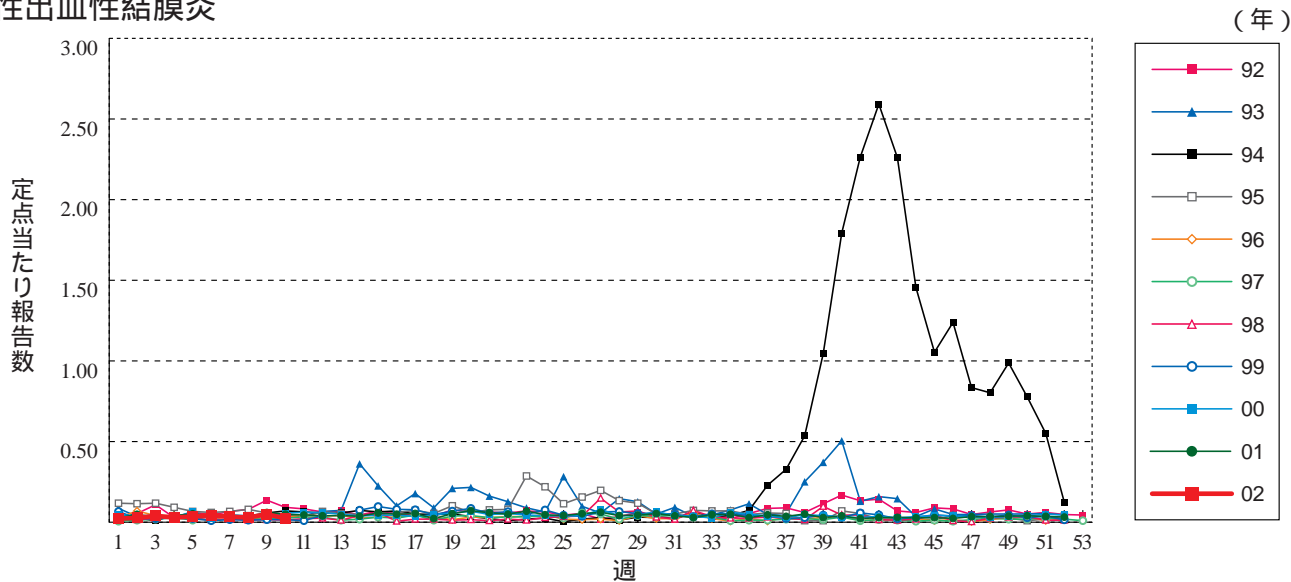
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



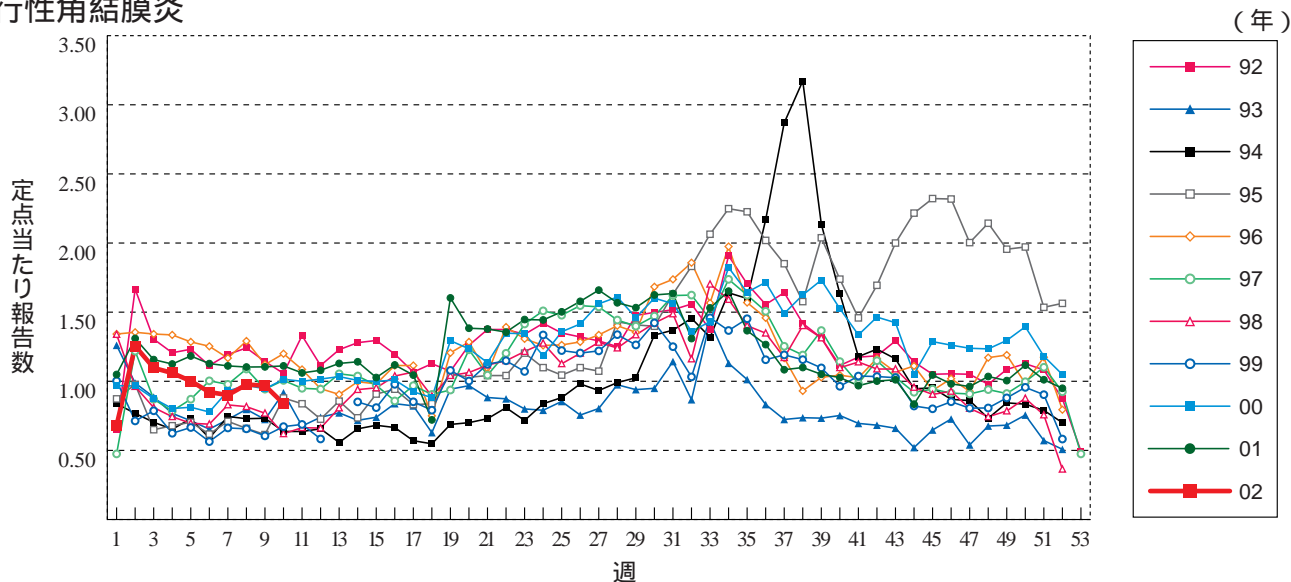
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

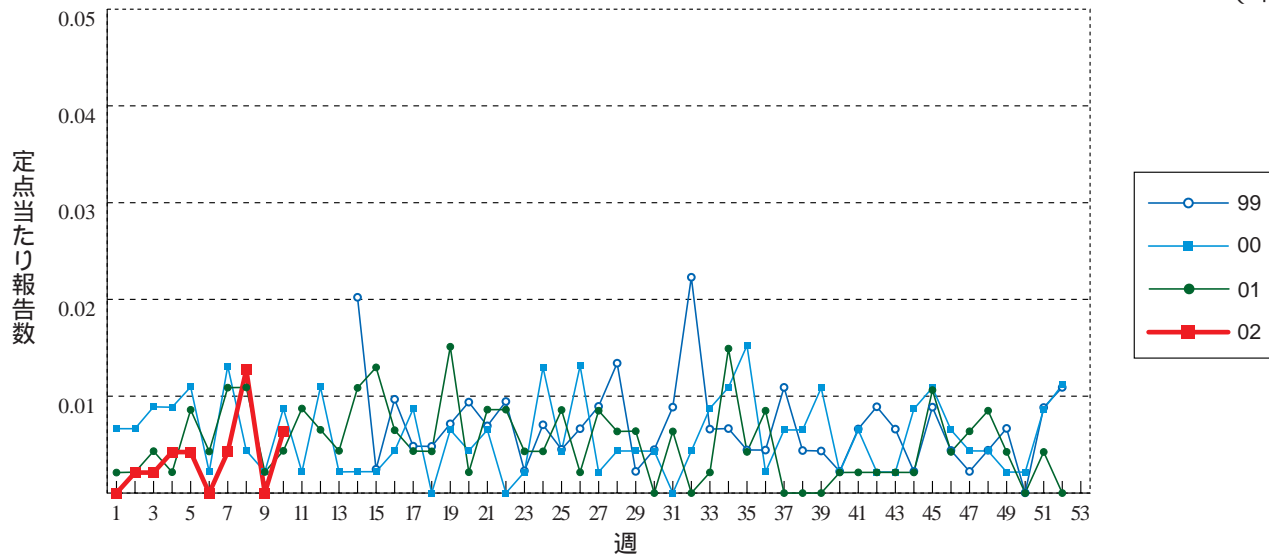


流行性角結膜炎



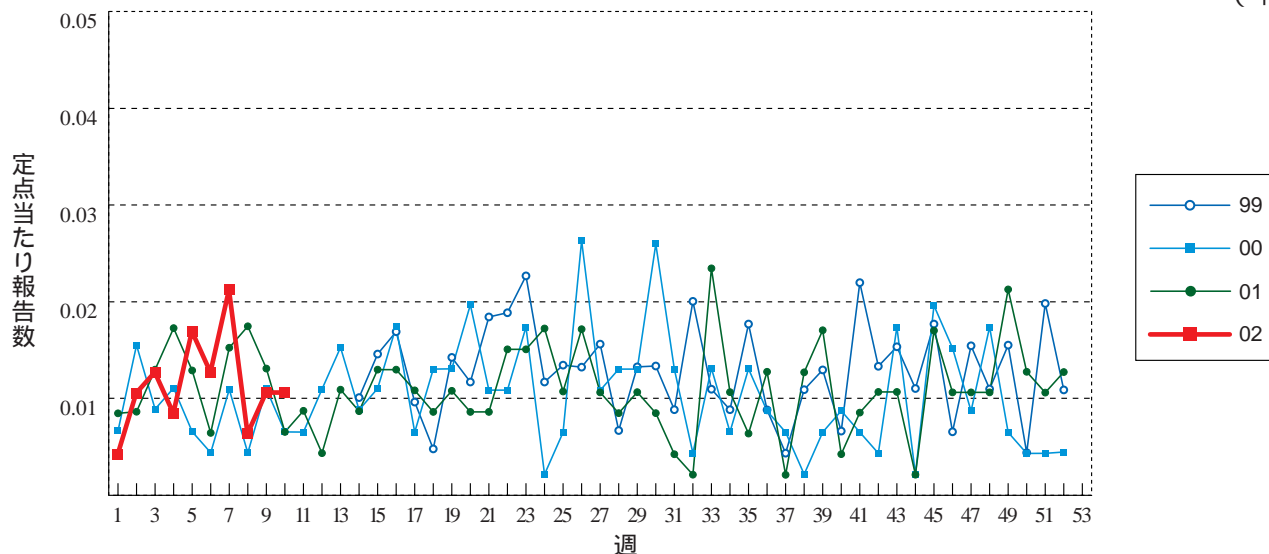
急性脳炎（日本脳炎を除く）

(年)



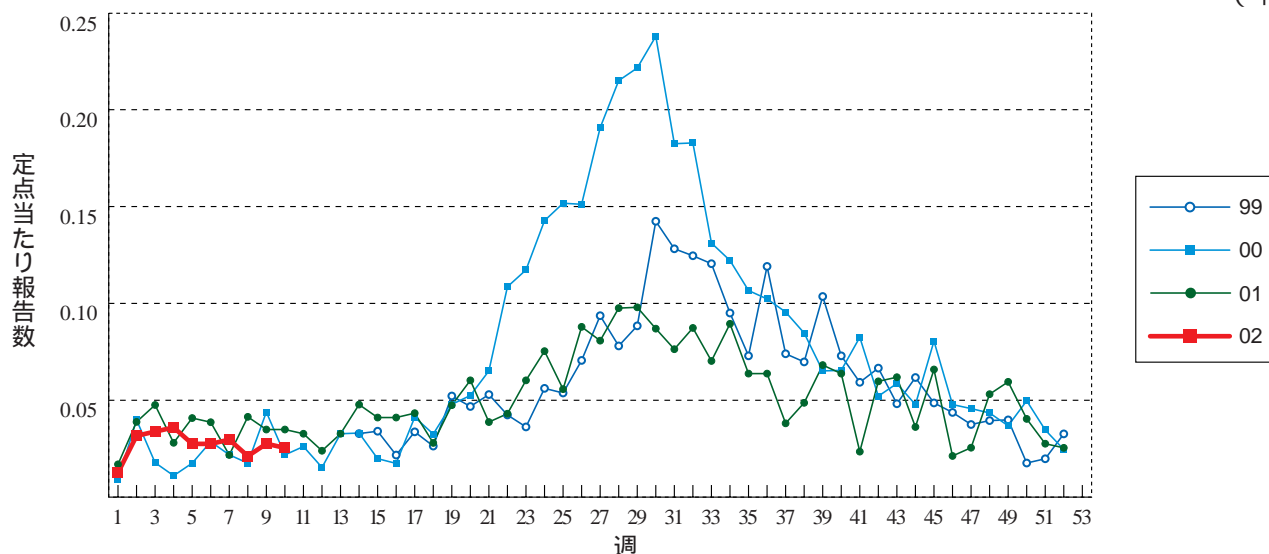
細菌性髄膜炎

(年)



無菌性髄膜炎

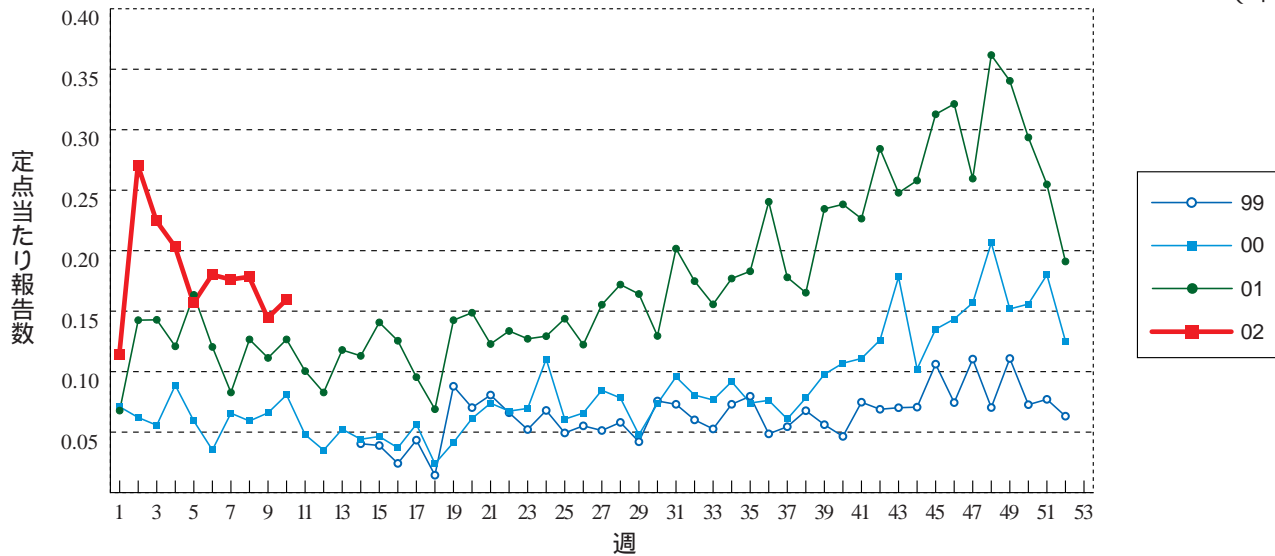
(年)





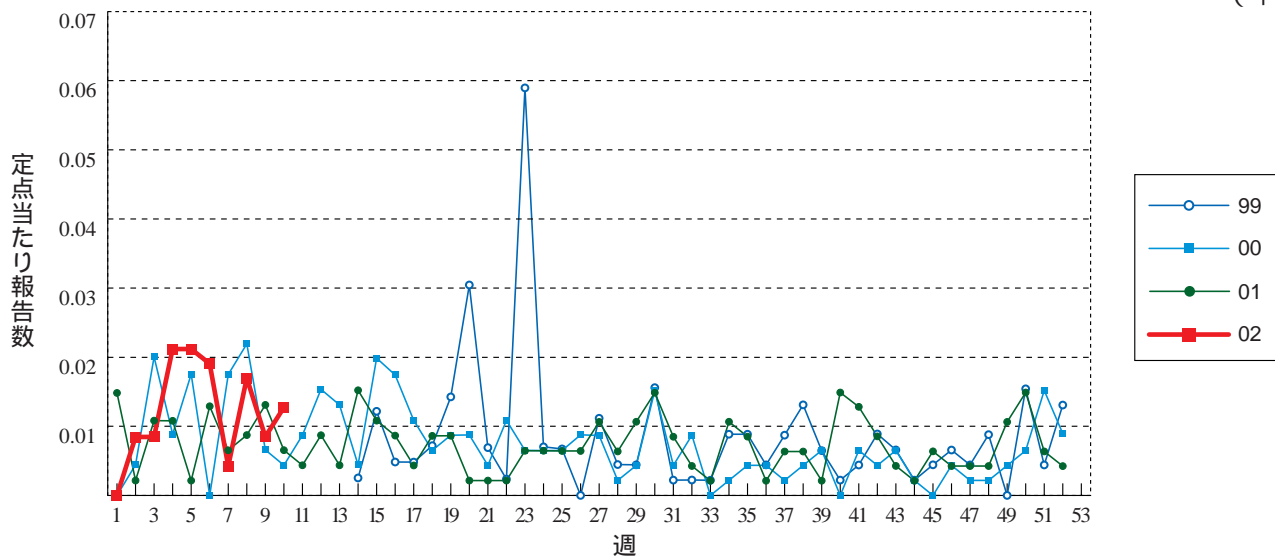
マイコプラズマ肺炎

(年)



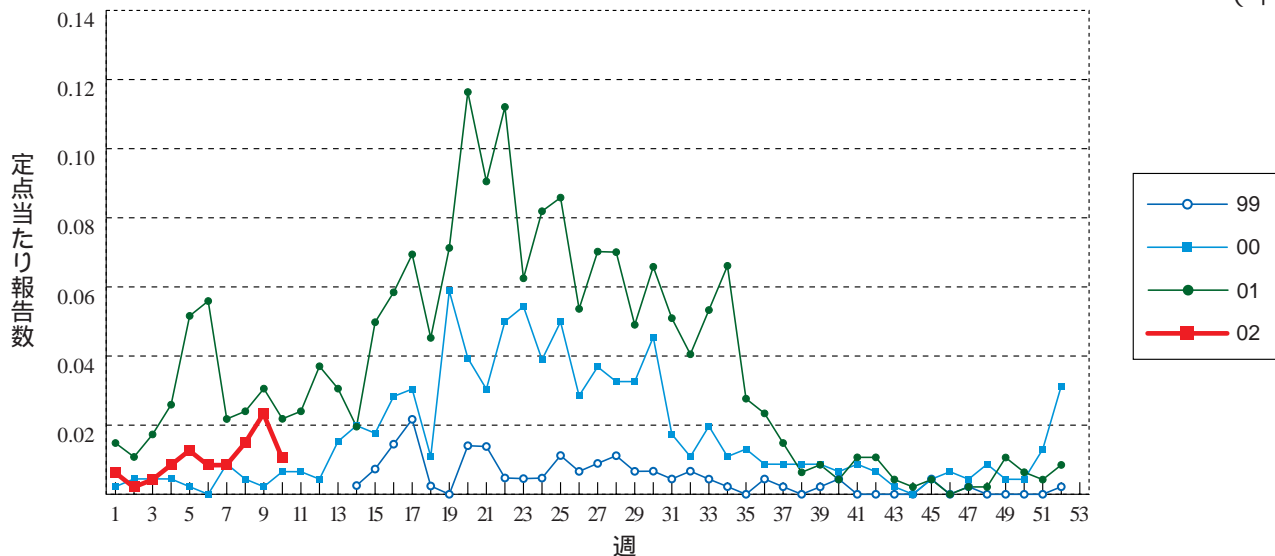
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





## 10週のデータ

注)表中の報告数は3月14日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成14年10週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	15	220	1	10	-	6
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	11	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	61	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	14	-	5	-	2	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	1	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	26	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2	-	1	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成14年10週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	11	89	3	66	-	2	-	-	2	21	-	-	7	174
北海道	-	-	-	-	-	3	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1
青森県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
秋田県	-	-	-	-	2	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
山形県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
茨城県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
群馬県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
千葉県	-	-	-	-	-	1	1	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
東京都	-	-	-	-	-	4	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28
神奈川県	-	-	-	-	-	5	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	7
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	8
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
愛知県	-	-	-	-	1	6	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
三重県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	1	5	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
大阪府	-	-	-	-	1	6	-	8	-	-	-	-	-	1	-	-	-	8
兵庫県	-	-	-	-	-	18	-	4	-	-	-	-	-	2	-	-	-	6
奈良県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6
広島県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	2	3	-	-	1	6
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	-	-	5	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7
佐賀県	-	-	-	-	2	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
大分県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
鹿児島県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5
沖縄県	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成14年10週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプトスボルジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジオイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	1	-	-	-	1	-	28	1	22	6	124	-	1	-	12	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	2	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	8	-	-	-	2	-	-
東京都	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	3	59	-	-	-	4	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	5	-	-	-	1	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	1	4	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	3	-	10	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	2	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	4	-	1	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成14年10週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風疹 症候群		炭 疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児 ボツリヌス症		梅 毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	1	32	2	9	-	-	-	-	-	-	2	91
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
東京都	-	-	-	-	-	-	3	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	15
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	5
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
兵庫県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	6
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
広島県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
宮崎県	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成14年10週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	1	7	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	3	16	-	-	1	22
北海道	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
千葉県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	2
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	3
神奈川県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成14年10週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	63590	13.56	158	0.05	4299	1.42	28798	9.52	5557	1.84	358	0.12	1309	0.43	1944	0.64	30	0.01
北海道	4184	18.19	8	0.06	557	3.84	495	3.41	226	1.56	22	0.15	48	0.33	77	0.53	1	0.01
青森県	1601	25.02	-	-	40	0.98	136	3.32	54	1.32	5	0.12	39	0.95	17	0.41	-	-
岩手県	1775	29.10	-	-	41	1.11	218	5.89	39	1.05	3	0.08	7	0.19	14	0.38	1	0.03
宮城県	2522	26.00	2	0.03	121	2.05	837	14.19	122	2.07	4	0.07	29	0.49	48	0.81	-	-
秋田県	1359	24.71	3	0.09	42	1.20	365	10.43	50	1.43	-	-	75	2.14	17	0.49	-	-
山形県	1447	30.15	1	0.03	157	5.23	456	15.20	72	2.40	2	0.07	16	0.53	33	1.10	2	0.07
福島県	1380	17.25	-	-	70	1.52	482	10.48	119	2.59	33	0.72	42	0.91	43	0.93	1	0.02
茨城県	907	7.69	-	-	72	0.97	397	5.36	71	0.96	5	0.07	27	0.36	23	0.31	1	0.01
栃木県	500	7.14	-	-	54	1.17	326	7.09	56	1.22	1	0.02	30	0.65	35	0.76	-	-
群馬県	1193	11.93	1	0.02	107	1.73	357	5.76	109	1.76	3	0.05	17	0.27	35	0.56	2	0.03
埼玉県	3017	11.92	18	0.11	215	1.37	1744	11.11	320	2.04	3	0.02	63	0.40	123	0.78	5	0.03
千葉県	3935	19.01	4	0.03	215	1.64	1432	10.93	238	1.82	2	0.02	42	0.32	78	0.60	1	0.01
東京都	1184	6.65	11	0.08	83	0.58	967	6.81	135	0.95	14	0.10	30	0.21	51	0.36	-	-
神奈川県	3417	10.42	16	0.08	277	1.34	1863	9.04	282	1.37	19	0.09	68	0.33	169	0.82	2	0.01
新潟県	4308	51.90	2	0.04	102	2.04	573	11.46	118	2.36	20	0.40	67	1.34	38	0.76	-	-
富山県	970	20.21	-	-	106	3.66	232	8.00	57	1.97	7	0.24	39	1.34	13	0.45	-	-
石川県	1054	21.96	10	0.34	37	1.28	362	12.48	77	2.66	8	0.28	45	1.55	24	0.83	-	-
福井県	513	16.03	1	0.05	83	3.77	405	18.41	48	2.18	-	-	7	0.32	18	0.82	-	-
山梨県	547	13.34	-	-	25	1.00	121	4.84	16	0.64	-	-	5	0.20	8	0.32	-	-
長野県	1824	21.21	1	0.02	102	1.89	588	10.89	53	0.98	-	-	33	0.61	31	0.57	-	-
岐阜県	1431	20.44	-	-	61	1.30	254	5.40	40	0.85	5	0.11	15	0.32	29	0.62	2	0.04
静岡県	1606	11.72	-	-	122	1.42	842	9.79	193	2.24	5	0.06	46	0.53	66	0.77	1	0.01
愛知県	2294	12.01	2	0.01	141	0.77	1117	6.14	215	1.18	9	0.05	38	0.21	87	0.48	-	-
三重県	1379	18.89	1	0.02	29	0.64	573	12.73	87	1.93	17	0.38	33	0.73	34	0.76	-	-
滋賀県	304	5.74	-	-	16	0.50	206	6.44	80	2.50	6	0.19	23	0.72	15	0.47	-	-
京都府	1028	8.16	2	0.03	76	1.00	791	10.41	75	0.99	3	0.04	40	0.53	33	0.43	-	-
大阪府	1810	5.95	5	0.03	160	0.82	1552	7.96	327	1.68	23	0.12	71	0.36	108	0.55	2	0.01
兵庫県	2427	12.26	4	0.03	123	0.96	1480	11.56	300	2.34	10	0.08	81	0.63	99	0.77	1	0.01
奈良県	506	9.20	1	0.03	47	1.34	306	8.74	42	1.20	4	0.11	9	0.26	14	0.40	-	-
和歌山県	491	9.82	1	0.03	35	1.13	287	9.26	38	1.23	6	0.19	11	0.35	19	0.61	1	0.03
鳥取県	371	12.79	2	0.11	35	1.84	268	14.11	35	1.84	9	0.47	13	0.68	13	0.68	-	-
島根県	213	5.61	9	0.39	22	0.96	127	5.52	33	1.43	18	0.78	7	0.30	14	0.61	-	-
岡山県	732	8.71	-	-	28	0.52	460	8.52	69	1.28	11	0.20	4	0.07	19	0.35	1	0.02
広島県	2562	21.53	7	0.09	59	0.79	857	11.43	138	1.84	18	0.24	14	0.19	44	0.59	-	-
山口県	519	7.41	8	0.16	74	1.51	711	14.51	207	4.22	7	0.14	17	0.35	72	1.47	-	-
徳島県	139	3.66	-	-	2	0.09	106	4.61	9	0.39	-	-	1	0.04	4	0.17	1	0.04
香川県	484	9.49	-	-	36	1.13	280	8.75	74	2.31	12	0.38	13	0.41	17	0.53	1	0.03
愛媛県	1081	16.89	10	0.26	91	2.33	380	9.74	77	1.97	-	-	21	0.54	33	0.85	-	-
高知県	451	9.20	1	0.03	45	1.45	248	8.00	64	2.06	17	0.55	12	0.39	22	0.71	-	-
福岡県	1423	7.19	4	0.03	289	2.41	2147	17.89	371	3.09	13	0.11	26	0.22	112	0.93	3	0.03
佐賀県	153	3.92	-	-	47	2.04	316	13.74	68	2.96	2	0.09	4	0.17	29	1.26	-	-
長崎県	1468	20.97	-	-	38	0.86	415	9.43	72	1.64	1	0.02	24	0.55	22	0.50	-	-
熊本県	648	8.00	6	0.12	64	1.31	704	14.37	100	2.04	6	0.12	13	0.27	40	0.82	1	0.02
大分県	665	11.47	1	0.03	43	1.19	656	18.22	112	3.11	1	0.03	11	0.31	27	0.75	-	-
宮崎県	876	14.60	5	0.14	48	1.30	558	15.08	119	3.22	-	-	16	0.43	35	0.95	-	-
鹿児島県	506	5.16	10	0.17	50	0.83	761	12.68	217	3.62	1	0.02	15	0.25	33	0.55	-	-
沖縄県	386	6.66	1	0.03	12	0.35	40	1.18	133	3.91	3	0.09	2	0.06	9	0.26	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成14年10週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	62	0.02	191	0.06	304	0.10	4377	1.45	15	0.02	532	0.84	3	0.01	5	0.01	12	0.03
北海道	-	-	-	-	8	0.06	100	0.69	-	-	16	0.55	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	2	0.05	3	0.07	53	1.29	-	-	17	1.55	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	1	0.03	2	0.05	57	1.54	-	-	13	1.08	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	3	0.05	3	0.05	140	2.37	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	2	0.06	1	0.03	-	-	81	2.31	-	-	4	0.57	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	4	0.13	2	0.07	207	6.90	-	-	19	2.38	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	1	0.02	11	0.24	90	1.96	-	-	11	0.92	-	-	-	-	-	-
茨城県	1	0.01	-	-	23	0.31	70	0.95	-	-	38	2.38	-	-	-	-	-	-
栃木県	1	0.02	-	-	-	-	101	2.20	-	-	8	0.67	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	3	0.05	7	0.11	83	1.34	2	0.14	19	1.36	-	-	-	-	-	-
埼玉県	3	0.02	5	0.03	28	0.18	105	0.67	-	-	13	0.37	-	-	2	0.22	-	-
千葉県	1	0.01	6	0.05	40	0.31	138	1.05	-	-	15	0.43	-	-	-	-	-	-
東京都	3	0.02	6	0.04	2	0.01	81	0.57	-	-	16	1.14	-	-	-	-	-	-
神奈川県	2	0.01	10	0.05	18	0.09	164	0.80	1	0.02	23	0.55	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	3	0.06	-	-	133	2.66	-	-	8	1.33	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	1	0.03	10	0.34	122	4.21	-	-	3	0.43	-	-	-	-	-	-
石川県	1	0.03	1	0.03	-	-	78	2.69	-	-	10	1.43	-	-	-	-	-	-
福井県	1	0.05	-	-	-	-	19	0.86	-	-	3	1.00	-	-	-	-	2	0.33
山梨県	-	-	-	-	-	-	60	2.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	1	0.02	-	-	135	2.50	1	0.10	17	1.70	-	-	-	-	-	-
岐阜県	1	0.02	1	0.02	1	0.02	67	1.43	-	-	5	0.45	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	3	0.03	19	0.22	154	1.79	-	-	2	0.10	1	0.10	-	-	2	0.20
愛知県	4	0.02	5	0.03	71	0.39	222	1.22	1	0.03	18	0.51	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	64	1.42	1	0.08	7	0.58	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	1	0.03	-	-	32	1.00	-	-	2	0.29	-	-	-	-	1	0.14
京都府	-	-	-	-	-	-	64	0.84	-	-	6	0.32	-	-	-	-	-	-
大阪府	1	0.01	10	0.05	7	0.04	140	0.72	-	-	13	0.25	-	-	-	-	-	-
兵庫県	2	0.02	2	0.02	-	-	137	1.07	-	-	32	0.89	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	1	0.03	58	1.66	-	-	11	1.22	-	-	-	-	2	0.33
和歌山県	-	-	-	-	3	0.10	53	1.71	-	-	8	2.00	1	0.09	-	-	-	-
鳥取県	1	0.05	-	-	13	0.68	25	1.32	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	22	0.96	-	-	1	0.33	-	-	-	-	1	0.13
岡山県	4	0.07	-	-	1	0.02	110	2.04	-	-	9	0.75	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	2	0.03	7	0.09	65	0.87	-	-	23	1.15	1	0.05	1	0.05	1	0.05
山口県	1	0.02	14	0.29	-	-	42	0.86	-	-	17	1.89	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	12	0.52	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	37	1.16	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	6	0.15	-	-	91	2.33	-	-	13	1.86	-	-	-	-	1	0.17
高知県	-	-	1	0.03	1	0.03	24	0.77	1	0.33	5	1.67	-	-	-	-	-	-
福岡県	28	0.23	14	0.12	8	0.07	164	1.37	1	0.04	42	1.62	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	4	0.17	2	0.09	35	1.52	-	-	8	2.00	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	9	0.20	-	-	61	1.39	6	0.75	24	3.00	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	23	0.47	4	0.08	57	1.16	-	-	8	0.89	-	-	1	0.07	-	-
大分県	-	-	45	1.25	4	0.11	81	2.25	-	-	3	0.60	-	-	-	-	-	-
宮崎県	1	0.03	2	0.05	3	0.08	139	3.76	-	-	6	1.50	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	3	0.05	1	0.02	-	-	218	3.63	-	-	10	1.67	-	-	-	-	-	-
沖縄県	1	0.03	-	-	2	0.06	186	5.47	-	-	5	0.50	-	-	1	0.14	2	0.29



第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成14年10週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	75	0.16	6	0.01	5	0.01
北海道	1	0.04	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	7	0.35	-	-	-	-
宮城県	7	0.58	-	-	-	-
秋田県	7	0.88	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	2	0.20	-	-	-	-
埼玉県	-	-	1	0.11	-	-
千葉県	-	-	2	0.15	-	-
東京都	-	-	-	-	2	0.08
神奈川県	-	-	-	-	3	0.27
新潟県	1	0.08	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	2	0.33	-	-	-	-
山梨県	9	0.90	1	0.10	-	-
長野県	2	0.18	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-
愛知県	1	0.08	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-
滋賀県	2	0.29	-	-	-	-
京都府	1	0.17	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-
兵庫県	1	0.08	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-
島根県	1	0.13	-	-	-	-
岡山県	4	0.80	-	-	-	-
広島県	6	0.29	-	-	-	-
山口県	1	0.13	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	2	0.40	1	0.20	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-
高知県	3	0.38	-	-	-	-
福岡県	2	0.13	-	-	-	-
佐賀県	1	0.17	-	-	-	-
長崎県	5	0.42	-	-	-	-
熊本県	3	0.20	1	0.07	-	-
大分県	1	0.10	-	-	-	-
宮崎県	2	0.29	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-
沖縄県	1	0.14	-	-	-	-

感染症週報 第4巻、第10号 平成14年3月25日発行  
 発行：国立感染症研究所  
 厚生労働省健康局結核感染症課  
 厚生労働省大臣官房統計情報部  
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター  
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1  
 T E L : 03-5285-1111  
 F A X : 03-5285-1129  
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>  
 <国立感染症研究所 感染症情報センター>  
<http://www.mhlw.go.jp/>  
 <厚生労働省>  
<http://www.forth.go.jp/>  
 <旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。